

その他の附帯事業・主な取組

広告事業

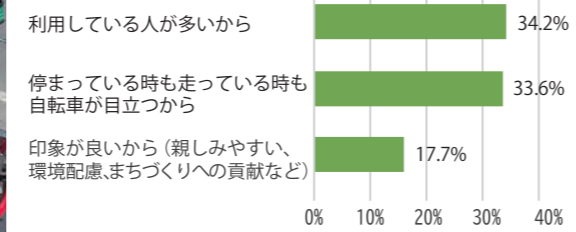
ポートに整然と並ぶ車体への広告はインパクトがあり、まちなかを駆け巡る赤い自転車は「走る広告」としても定着しています。

環境面や健康面において優れた自転車。ポロクルへの広告掲出は商品やサービスの宣伝だけでなく、企業のSDGsやCSR活動など企業価値を高める取組にも活用されています。



▲株式会社NTTドコモ北海道支社様の広告（掲出期間：4月～11月、掲出台数：480台）

Q.ポロクルの車体に広告を掲出することは、なぜ効果的であると思いますか？



『ポロクル2022利用者アンケート』より

藻岩山山麓通周辺の観光施設と連携



▲1日バス特別パックの広報



安全運転を促すルートマップ▶

藻岩山山麓周辺の観光施設である「札幌もいわ山ロープウェイ」「大倉山ジャンプ競技場」「札幌市円山動物園」と連携し、各施設の割引券やノベルティが付いた1日バスを数量・期間限定で販売しました。また、安全な利用を促すため、道路状況や高低差などを記載したルートマップを作成して配布したほか、SNS等による情報発信も積極的に実施しました。

南1条通における道路空間利活用実証実験に参画

「多様なニーズに対応し、新たな賑わいの創出に資する道路空間利活用実証実験」に参画。南一条通・一番街つながるプロジェクト「さっぽろわざわわわストリート」にて、自転車の車道走行を促すポートを設置したほか、ペロタクシーとコラボしたお得な「ポロペロ乗りのりセット」の販売や、ヘルメットの無料貸し出しを実施しました。



▲1日バス特別セットの広報



▲車道を走行するポロクルユーザー

PICK UP

1日バス紹介とルール・マナー啓発動画を制作！

ポロクルスタッフ監修・出演による1日バスでの楽しみ方動画をポロクル公式YouTubeチャンネルにて公開しました。

実際の申し込みから自転車を借りて返却するまでの利用方法や楽しみ方を提案するだけでなく、自転車安全利用の呼び掛けも行っています。

YouTube「ポロクル公式チャンネル」にて動画公開中



特定非営利活動法人ポロクル ※呼称「認定NPO法人ポロクル」

http://porocle.jp/npo_porocle/



2023年5月10日 発行

あなたとつくるやさしいまち porocle




認定NPO法人 ポロクル

2022年度 事業レポート

自転車共同利用サービス（サイクルシェアリング）事業

昨今のユーザーニーズを踏まえ、2022年度は新型操作パネルを搭載した自転車 70 台を増車し、全 480 台でサービスを開始しました。また、ポートは新たに「駅前大通ビッセ前」「駅前通札幌大通西 4 ビル前」などを増やし合計 53 カ所とし、ユーザーの利便性を向上させました。これらも後押しし、累計会員登録件数は 5 万件を突破、年間利用回数は昨年比約 1.3 倍の 45 万回を超えました。

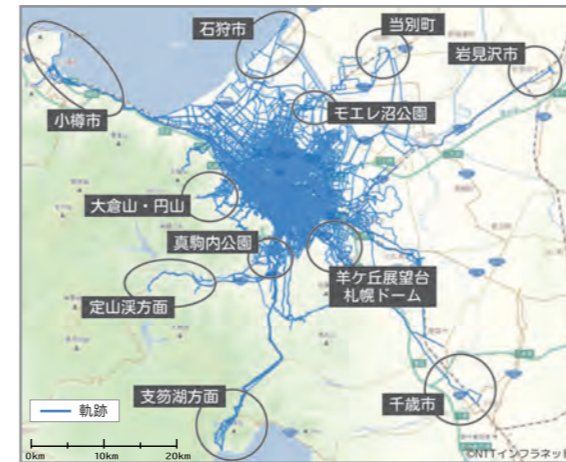
また、全国連携先のシェアサイクル登録会員がポロクルを利用した件数も増加。登録不要の「1 日パス」での利用も増え、販売数は前年度比約 2.0 倍となりました。市民や旅行者の買い物や健康づくり、出張や観光など様々なシーンでポロクルが活用されました。

サービス概要		
	2021年度	2022年度
自転車台数	410台	480台
ポート数	52カ所	53カ所
営業期間	4月10日～11月14日(219日)	4月9日～11月13日(219日)
営業時間	24時間営業	
自転車仕様	20インチ/3段変速/電動アシスト付き/操作パネル搭載 メーカー：ブリヂストン、ヤマハ	
アプリ仕様	 全国共通アプリ (全国の連携先ポート確認可能)	

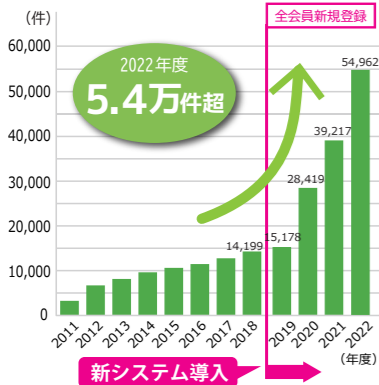


車載 GPS による移動軌跡

全車両に搭載されているGPSから、札幌中心部だけでなく広域的に利用されていることが把握できました。電動アシスト付き自転車は遠距離や坂道も楽に移動できることから、モエレ沼公園や羊ヶ丘展望台など、札幌を中心とした周遊観光の活性化に貢献しています。また、車両3台に高精度GPSを搭載し、精度の高い位置情報を取得しています。通行した路線だけでなく、車道か歩道か、順走か逆走かといった詳細な通行状況も把握できるため、これを活用し、自転車のルールを守る人、安全に利用する人が増えていくミライを目指します。



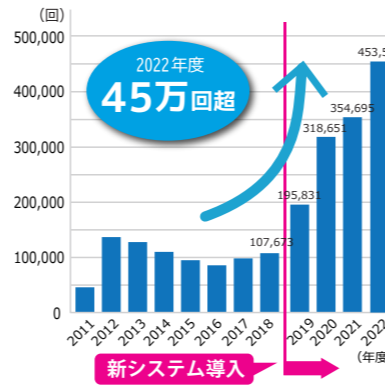
会員登録件数（年度別・累計）



会員登録数（累計）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
一般・法人会員	14,199	15,178	28,419	39,217	54,962

利用回数（年度別）



利用回数・回転数（年度別）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
年間全利用回数	107,673	195,831	318,651	354,695	453,547
1日当たり	平均 561	1,036	1,562	1,620	2,071
利用回数	最大 1,043	1,666	2,591	2,387	3,133
1台当たり	平均 1.9	3.3	4.3	4.2	4.7
回転数	最大 3.5	5.2	7.1	6.2	7.2

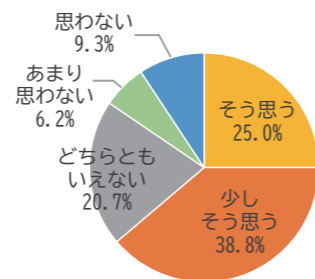
他地域との ID 連携状況

ポロクルの会員が他連携地域のシェアサイクルを利用する、または全国連携先のシェアサイクル会員がポロクルを利用するといった相互利用が増加しています。旅行や出張など訪問先での選択肢が増え、シームレスな移動が実現しています。

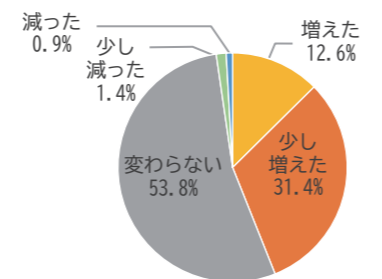


ポロクル 2022 利用者アンケート 回答数1,393件

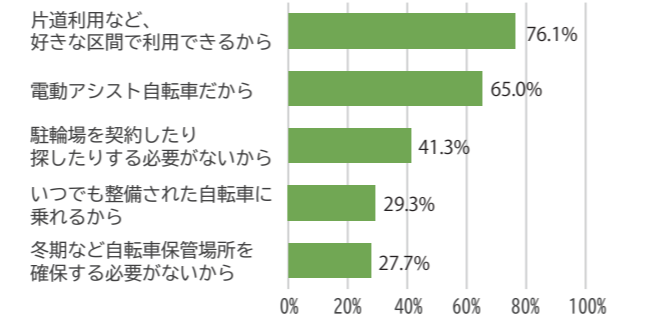
Q. ポロクルを利用することで、爽快感や活気が出てきましたか？



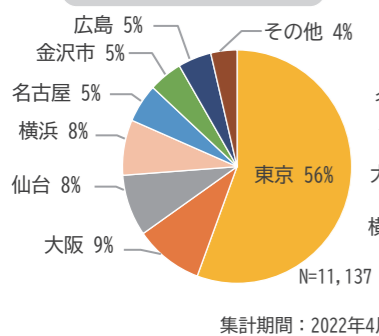
Q. ポロクルを利用することで、立ち寄る場所の数（飲食店や購買施設、観光地など）が増えましたか？



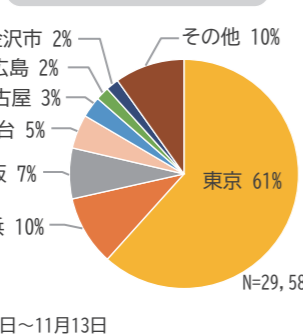
Q. マイ自転車を所有して使うより、シェアサイクルが良いと思う理由は？



ポロクル会員の他エリア利用



他エリア会員のポロクル利用



自転車のルール・マナーや環境負荷低減に関する啓発活動事業

自転車安全日の啓発活動

毎月第1・第3金曜日の「自転車安全日」に、矢羽根型路面表示の設置区間（自転車通行位置を明示する青色の路面表示）における路上駐車抑制を目的とした周知活動に協力しました。また、西2丁目線地下駐輪場の供用開始に伴い、駐輪場や放置自転車禁止区域の周知活動も行いました。



▲ポロクルクルーによるデモ走行



▲ポロクルクルーによる啓発活動

秋の全国交通安全運動における啓発活動

秋の全国交通安全運動において北海道や北海道警察と連携し、北5条手稲通（アピア前交差点付近）にて、自転車利用者に対しのみ旗掲出や啓発品を配布するなど、自転車の安全利用を呼びかけました。



▲ポロクルクルーによる啓発活動

海洋ゴミ問題への取組 「海と日本プロジェクト」との連携事業

「海洋ゴミの8割は『まち』から出ている」ということを受け、まちをフィールドに活動しているポロクルは2021年度より「海と日本プロジェクト」と連携した様々な取組を実施しています。2022年度は、都心部でユーザー参加型のゴミ拾いイベントを開催し、全国一斉清掃活動期間中には、プロジェクトTシャツを着用したクルーによるポート周辺の美化活動を行いました。また、環境に配慮したゴミ袋をポートに設置し、ポロクル利用者へ「自分のゴミは自分で持ち帰る」ことを促しました。



▲ゴミ拾いに参加したポロクルユーザー ▲ポロクルクルーによる美化活動



▲ポロクルポートへのゴミ袋設置の取組

自転車ヘルメット着用促進モニター事業



2021年度より北海道と連携し、ポロクル利用者を対象に「ヘルメット着用促進モニター」を募集し、アンケートに回答いただくことを条件に、無料でヘルメットを貸し出しました。アンケート結果は、今後の自転車安全利用に向けた取組に役立てていきます。

◀着用促進モニター募集の広報

着用促進モニターアンケート調査

Q. ヘルメット着用前と着用後で、自転車に乗る時の安心感は増えたと思いますか？

